

# 第5学年国語科学習指導案

日 時 平成22年6月24日(木)5校時  
児 童 男子5名 女子7名 計12名  
指導者 教諭 高橋 秀和

## 1 単元名 動物と人間のかかわりをえがいた物語を読もう

教材名 大造じいさんとがん (文学的文章)

## 2 単元について

### (1) 児童について

5年生の児童は、5年生になってから文学的文章として「新しい友達」を、説明的文章として「サクラソウとトラマルハナバチ」を用いて、読むことの学習を進めてきた。児童は、読むことの学習を通して、「目的に応じていろいろな本や文章を分析的に読み、内容の中心をとらえたり、段落相互の関係を考えて全体の構成を把握し、自分の考えをまとめたりしながら読む」力を高めてきている。

しかし、中心人物、対人物の相互関係や心情をつかんだり、場面についての描写をとらえたり、優れた叙述について自分の考えをまとめたりする文学的文章の読み方が十分に育っているとは言えない。

そこで、本単元では、登場人物の相互関係や心情の変容をつかみ、優れた叙述に対する自分の考えをまとめた後、話を一文でまとめることを目標に設定する。ここで児童に身に付けさせたい読みの力とは「C読むこと」(2)の①「エ 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること」ができる力である。児童が中心人物、対人物を把握し、叙述に即して人物像を読み取ることができるようにしていきたい。また、話を一文にまとめて書く活動によって中心人物の変容に気付く力も育てていきたい。

### (2) 教材について

教材文「大造じいさんとがん」は、「大造じいさん」が残雪の仲間を救う姿を見たことによって残雪をすばらしいライバルだと思ふようになった話である。大造じいさんはかりゅうど、残雪は群れの頭領という立場の二人が、お互いの生存をかけた激しい戦いを繰り広げていくという話の展開になっている。

教材文は、大造じいさんの気持ちの変化を伝えるために残雪の呼び方を変えたり、文章を大造じいさんの視点から残雪の視点に変えたりという表現の工夫をしている。また、大造じいさんと残雪の関わりが始まる前には、大造じいさんの心情と美しい場面の描写を重ね合わせて表現している。教材文に、当然のことのように書かれていると思われたことが、実は作者の優れた叙述や表現の工夫であり、それを読み解こうとした時に、児童は思考力を働かせることになる。だから、本教材を扱うことによって、「内容をとらえたり表現の工夫をとらえたりして読む力」を育てることができると考える。

### (3) 指導について

本単元では、中心人物の人物像や相互関係を明らかにし、その後話を一文でまとめることを目標とする。

指導に当たって、第一次では、教材文「大造じいさんとがん」について作品の概要をとらえる。文学的文章の読み方で、登場人物・中心人物・対人物・いつ・どこで・話の中で変わったこと・一番大きく変わったことを観点にして、作品を読み取る。また、第五次にそなえて椋鳩十作品の並行読書を進めておく。

第二次では、大造じいさんのしかけた作戦と起きた事件、その結果という観点で四つの場面構成をつかみ、作品の山場について話し合う。

第三次では、残雪の呼び方の変化や場面の描写などの優れた叙述を書き抜き、それについての自分の考えをまとめる。また、大造じいさんはどのような人物か読み取り、残雪やはやぶさの役割を人物関係図にかく。

第四次では、教材文を一文で書き表し、中心人物の変容をとらえる。

第五次では、「動物と人間のかかわりをえがいた物語を読もう」というテーマで、これまで学習したことを活用して、椋鳩十の他作品を読む。並行読書などで読んできた作品について、話を一文で書き表したりお気に入りの表現を紹介したりして、考えを交流し合う。単元学習の最後に、この単元を通して自分が身に付けたことはなんだったのかを振り返るようにする。

### 3 単元の目標

- 本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりして読もうとする。  
(関心・意欲・態度)
- 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめることができる。  
(読むこと)
- 比喩や反復などの表現の工夫に気付くことができる。  
(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

### 4 単元の指導計画と評価規準（9時間）

次	指導目標	時	主な学習活動	指導事項と言語活動	評価規準
第一 次	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「大造じいさんとがん」を読んで、印象に残った表現の仕方などについて、自分の考えを書くことができる。</li> <li>・新出語句を調べ、意味を確かめる。</li> </ul>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全文を音読し、初発の感想を書く。</li> <li>○新出漢字を練習したり、新出語句を辞書で調べたりする。</li> </ul>	読オ それぞれ考えたことが、どのように共通していたり相違していたりしているのかなど明らかにさせる。 <b>初発の感想交流</b>  伝ウ(ア) <b>辞書引き</b>	教材文を進んで読み、印象に残った表現の仕方などについて、自分の考えを書いている。 (関心・意欲・態度)

第一次	<ul style="list-style-type: none"> <li>中心人物，対人物，いつ，どこ，話の中で変わったことを見付け，作品の概要を読み取ることができる。</li> </ul>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「六つの読みの観点」に沿って，作品を読み取る。</li> <li>○様々な変化がある中で，一番変化したものについて，考えを交流する。</li> </ul>	<p>読イ</p> <p>文章全体を概観しながら拾い読みさせる。</p> <p><b>情報の取り出し</b></p>	<p>六つの読みの観点に沿って，作品の概要を読み取っている。</p> <p>(読むこと)</p>
第二次	<ul style="list-style-type: none"> <li>四つの場面構成をつかみ，作品の山場を見付けることができる。</li> </ul>	3・4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大造じいさんのしかけた作戦と起きた事件，その結果という観点で，四つの場面を読み取る。</li> <li>○山場の中でも，一番盛り上がる場面はどこかについて，根拠を明らかにして話し合う。</li> </ul>	<p>読エ</p> <p>場面の展開に沿って読みながら，感動やユーモア，安らぎなどを生み出す優れた叙述に着目して自分の考えをまとめさせる。</p> <p><b>山場</b></p>	<p>四つの場面から山場を見付けている。</p> <p>(読むこと)</p>
第三次	<ul style="list-style-type: none"> <li>情景描写から「大造じいさん」の心情を想像したり，残雪の呼び方が変化したりすることについて，自分の考えをまとめることができる。</li> </ul>	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○情景描写から，「大造じいさん」の気持ちを想像し，考えを交流し合う。</li> <li>○大造じいさんの残雪に対する呼び方が変わっていることを取り上げ，その効果について考えを交流し合う。</li> </ul>	<p>読エ</p> <p>場面の展開に沿って読みながら，感動やユーモア，安らぎなどを生み出す優れた叙述に着目して自分の考えをまとめさせる。</p> <p><b>優れた叙述探し</b></p> <p>伝イ(ケ)</p> <p><b>比喩や反復，対比</b></p>	<p>作者の優れた叙述(比喩や反復，対比)について，自分なりの考えをもっている。</p> <p>(読むこと)</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>大造じいさんの人物像を読み取り，人物の相互関係を人物関係図にまとめることができる。</li> </ul>	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中心人物の人物像について，叙述を根拠にしながらノートに書き込み，発表し合う。</li> <li>○残雪，はやぶさ，おとりのがんについても，その役割を考えて，人物関係図にかき足す。</li> </ul>	<p>読エ</p> <p>中心となる登場人物について，その相互関係をとらえそれらに基づいて心情や場面の描写をとらえさせる。</p> <p><b>人物関係図</b></p>	<p>人物の相互関係を人物関係図にまとめている。</p> <p>(読むこと)</p>
第四次	<ul style="list-style-type: none"> <li>一文で書き表す時の文の構造(～が～によって～した話)に沿って，「大造じいさんとがん」を一文で書き表すことができる。</li> </ul>	7本時	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「大造じいさんとがん」は，どんな話であったか，○○が○○によって○○した話という文型を使って一文で書く。</li> </ul>	<p>読エ</p> <p>感動やユーモア，安らぎなどを生み出す優れた叙述に着目して自分の考えをまとめさせる。</p>	<p>文の構造に沿って，「大造じいさんとがん」を一文で書き表している。</p> <p>(読むこと)</p>

第四次		7	○お互いに読み取ったことについて、根拠を明らかにしながら意見交流をする。	<b>一文で書く</b>	
第五次	・「動物と人間のかかわりをえがいた物語」を読み、話を一文で書き表し、一人一人の感じ方について違いのあることに気付くことができる。	8・9	○「片耳の大シカ」、「金色の川」、「月の輪グマ」「たたかうカモシカ」などの椋鳩十作品を読み、作品の概要をつかんだりお気に入りの表現を見つけたりしながら、ポスターに書き表す。  ○できあがったポスターを發表し、お互いの読みを交流する。	読エ 場面の展開に沿って読みながら、感動やユーモア、安らぎなどを生み出す優れた叙述に着目して自分の考えをまとめさせる。  <b>ポスター作り</b>	前時までの学習を活用して、話を一文で書き表すことができる。(読むこと)

## 5 本時の指導 (7/9 時間)

### (1) 目標

一文で書き表す時の文の構造に沿って、「大造じいさんとがん」を一文で書き表すことができる。  
(読むこと)

### (2) 具体の評価規準

A	B	指導の手立て
「大造じいさんとがん」について、文の構造(～が～によって～する話)に沿って、大造じいさんの心情が変容したことについて、教科書にない表現や抽象化した言葉でとらえ一文で書き表している。	「大造じいさんとがん」について、文の構造(～が～によって～する話)に沿って、大造じいさんの変容のきっかけをとらえ一文で書き表している。	友達の考えなどを参考にし、て、「大造じいさん」の心の変容した原因となるものは何だったのかを教材文の中から探させる。そのものを使ってまとめるとよいことを教える。

### (3) 本時の指導事項

「大造じいさんとがんを一文で書き表すこと」を本時の目標とする。一文で書き表すことは、教材文の構造を理解し、中心人物の変容をとらえることになるため、文学的な文章の解釈に迫る言語活動となる。そのための言語活動は、以下の通りで計画している。

まず「大造じいさんとがん」はどのような話であったか、「～が～によって～する話」という文の構造に沿って「一文で書く」ようにする。次に、一人一人が書いた文を發表し合い、考えを交流する。交流の中で、自分の考えの根拠となった叙述について明らかにしていく。

以上の言語活動を通して、文学的な文章の解釈に迫らせる。

(4) 展開

段階	学習活動と主な発問・予想される児童の反応 主な発問 (○) 児童の反応 (・)	評価・留意事項等 評価 (*) 留意事項 (・)
つ か む  5 分	<p>1 学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 「大造じいさんとがん」について、話を一文でまとめよう。 </div> <p>2 読みの視点を確かめる。</p> <p>読みの視点 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">一文で書く</span></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の学習が単元全体の活動で、どの段階にあるのかということを確認する。</li> <li>・「大造じいさんとがん」の話を一文で書き表すことを確かめる。一文とは、句点 1 つ分の文であることを押さえる。</li> <li>・「○○が○○によって○○する話。」という文型を黒板に提示し、学習のゴールをつかませる。</li> </ul>
ふ か め る  30 分	<p>3 「大造じいさんとがん」を一文で書き表す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大造じいさんが、残雪をただの鳥ではなくがんの英ゆうだと思ふようになった話。</li> <li>・大造じいさんが、残雪が仲間を救う姿を見たことによって、残雪をライバルだと思えるようになった話。</li> <li>・大造じいさんが、残雪の堂々とした態度を見ることによって、残雪に対する気持ちが変わる話。</li> <li>・大造じいさんが、残雪とハヤブサの戦いを見ることによって、残雪と仲よくなる話。</li> </ul> <p>4 書いた文を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの書いた文を隣同士で交流し合う。</li> <li>・隣同士で交流したことを全体の前で発表する。</li> </ul> <p>○これらの文を見て、その言葉を使った根拠を聞いてみたい文はありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中心人物が、大造じいさんとなっているのは、なぜですか。</li> <li>・「残雪が」を書き出しにしたのは、なぜですか。</li> <li>・ライバルという言葉を使ったのはなぜですか。</li> <li>・残雪と仲よくなるという言葉を使ったのはなぜですか。</li> </ul> <p>○一文で書くのに、必要な言葉はどれだと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中心人物は、大造じいさんなので、大造じいさんです。</li> <li>・大造じいさんの心が変わった話なので、残雪をライバルだと思えるようになったがよいと思います。</li> <li>・そのきっかけとなったのは、残雪が仲間を救う姿を見たことや残雪の堂々とした態度を見たことなので、必要な言葉だと思います。</li> </ul> <p>5 再び「大造じいさんとがん」について、話し合いを聞いていいなと思ったことを使って、一文で書き表す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの書いた文を発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「中心人物が、出来事・事件によって、変わった話。」という文型にまとめていけばよいことを確認する。</li> <li>・書き出せない児童には、中心人物は誰だったか、中心人物の心がどう変わったか、変わった原因となるものはなんだったのかを紙板書を手がかりに考えるように支援する。</li> <li>・選んだ言葉は、どの文が根拠となったのかをはっきりさせるように支援する。</li> <li>・気付いたことをどんどん発表させる。</li> <li>・黒板に書き出された文に使った言葉について、根拠を明らかにして話せるよう支援する。</li> <li>・話し合いを進めていく上で、書き表された一文が教材文に書かれていない解釈をしていないかどうか検討するようにする。</li> <li>・一文で書くのに必要な言葉について、どうしてそれが必要だと思ったのかを考えるようにする。</li> </ul> <p>* 全体の話し合いでいいと感じた表現を生かして、「大造じいさんとがん」を一文で書き表している。 (ノート記述)</p>

ま と め る  10 分	<p>6 学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今日の学習について、板書された一文を読み学習のまとめをする。</li> </ul> <p>7 今日の学習について、振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一文で書き表したことで、一番大きく変わったことがわかったかどうかを書いて、学習を振り返る。</li> <li>ぼくは、大造じいさんは残雪をいまいましいやつと思っていたのに、ひきょうな手ではなく正々堂々と戦おうという気持ちに変わったわけがわかりました。残雪の仲間を救う姿に心を打たれたからです。</li> </ul> <p>8 次時の予告をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「動物と人間のかかわりをえがいた物語」を読み、これまでの学習を活用して、ポスター作りをすることを確かめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>わかったことやできるようになったことについて文章で記述するように支援する。</li> <li>次時は、椋鳩十の他の作品を選んで、読むことを伝える。</li> </ul>
---------------------------------	---	---

(5) 板書計画

<p>大造じいさんが、残雪の仲間を救う姿を見たことによって残雪をすばらしいライバルだと思ふようになった話。</p>	<p style="text-align: center;">○その言葉を使ったわけ</p> <p>大造じいさんの心の変容が話の柱。</p> <p>残雪が仲間を救う姿を見て、いまいましい相手からライバルにかわったと思ったから。</p>	<p style="text-align: center;">○読みの視点 ↓ 一文で書く</p> <p style="text-align: center;">中心人物が出来事・事件によって心が変わった話。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大造じいさんが、残雪をただの鳥ではなくがんの英ゆうだと思ふようになった話。</li> <li>大造じいさんが、残雪が仲間を救うすがたを見たことによつて、残雪をライバルだと思えるようになった話。</li> <li>大造じいさんが、残雪の堂々とした態度を見ることによつて、残雪に対する気持ちがかわる話。</li> <li>大造じいさんが、残雪とハヤブサの戦いを見ることによつて、残雪と仲よくなる話。</li> </ul>
<p>大造じいさんとがん</p> <p>椋 鳩 十</p>		<p>「大造じいさんとがん」について、話を一文でまとめよう。</p>